

2020 年度休眠預金活用事業「社会的養護下にある若者に対する社会包摂システム構築事業」
成果報告会アンケート 結果

1. 目的

本アンケートは、2024 年 3 月 18 日に開催した「社会的養護下にある若者に対する社会包摂システム構築事業」成果報告会の参加者が、本事業とその成果、また本報告会に対してどのような感想を持ったかを明らかにし、今後の当財団の助成事業およびイベント開催の参考とすることを目的に行った。

2. アンケート実施期間

2024 年 3 月 18 日～3 月 21 日

3. 調査対象

成果報告会の参加者 37 人のうち WA4 人を除く 33 人。

4. 調査方法

オンラインフォーム（QR コードとメールで案内）

5. 回収状況

回収数：13 人 回収率：39%

6. まとめ

報告会の総合的な満足度は 5 段階で平均 4.77 と評価が高く、その理由として「ワールドカフェ」を挙げる方が多かった。団体との直接的なコミュニケーションに積極的な参加者が多かったことが推察される。なお、ワールドカフェについては質問 2「各プログラムの満足度」で低評価が高評価を上回る結果となっているが、これは「ワールドカフェの時間が短かった」「他の団体のテーブルも回りたかった」などの「もの足りなさ」を指摘する意見が反映されたものと考えられる。

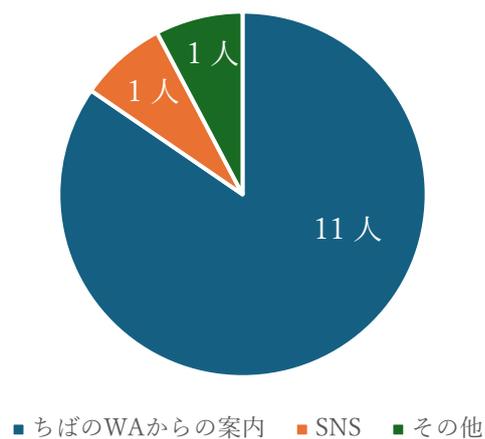
また、満足度の理由・感想では「資金分配団体の伴走支援」「評価・成果」への言及もあり、休眠預金制度とその仕組み・本事業の全体感を理解している参加者が多かったこともわかった。

7. アンケート集計結果（添付）

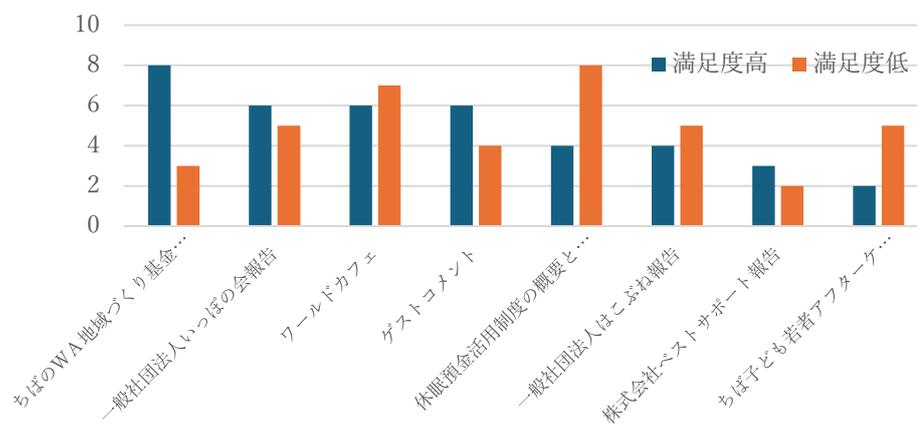
7.添付資料

2020 年度休眠預金活用事業「社会的養護下にある若者に対する社会包摂システム構築事業」 成果報告会アンケート 集計結果

1. 成果報告会を何で知りましたか？



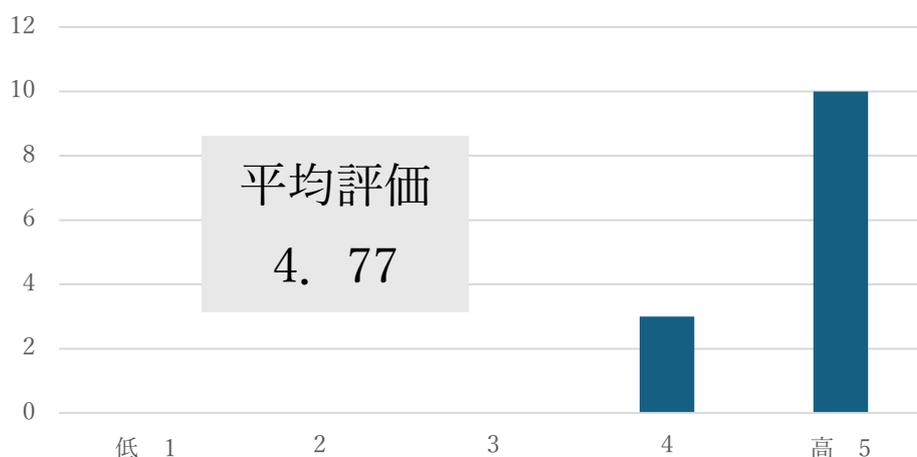
2. 各プログラムの満足度



満足度が高かったプログラムと低かったプログラムを3つずつ選択。

3. 総合的な満足度

5段階で総合的な満足度を聞いた。



4.総合的な満足度の理由

- 個別団体の取組はもとより、現場で直接頑張る団体とちばの WA 地域づくり基金のような伴走型の中間支援組織の二人三脚の取組がとても効果的かつ実行性が高いと感じました。個々の団体の地域課題解決に取り組む姿勢と熱い思いと着実に成果を上げている点に感銘を受けるとともに、ちばの WA の伴走支援（資金的支援をしっかりと行うとともに非資金的支援）に注力する取組・プロセス・姿勢も大きな成功要因であると感じました。
- 休眠預金制度の説明、分配団体・実行団体の報告、ワールドカフェ、ゲストコメントとバランスの良いプログラムで構成されており、また、その内容も興味深いものばかりで、楽しい時間を過ごさせていただきました。ただ、ワールドカフェについては、各団体もう 10 分程度時間があればより良かったと思います。
- ジャンピア、ちばの WA、実行団体が一同に介し、話ができたこと
- ご案内頂いた時は 13-17 時と長めの設定と思いましたが、時間配分もよく、また後半は能動的に質問・話す場面などもあり、あっという間でした。
- 定量的な成果だけでなく定性的な成果を知れたことや、ワールドカフェ形式で参加者それぞれの視点で実行団体さんたちの取り組みから価値を見つけることができたため。
- 一件一件の事例含め、非常に社会的養護に関する現場の課題の解像度が上がりましたし、意義のある活動をされていると感じました。団体さんとも直接コミュニケーション取ることができて非常に学びが多い報告会でした。（上記の満足度も低かったにチェックしたのもあくまで優劣をつけるならということですので、全体通して満足です）
- 3 年間の振り返りと実行団体含めたあらためて経験共有をしながら繋がる機会となったため。
- 3 年間の具体的な成果が見えた
- ワールドカフェの説明がもう少し欲しかったのと、行う時間をもう 1 セット程欲しかったです
- 4 団体がそれぞれ掲げたテーマを元にした事業ですが、4 団体の結果はそれぞれが重なり合っており、今後も連携し、それぞれが繋いだネットワークも絡ませて行くと社会的養護下の若者や生き辛さを抱えた若者を支える千葉県になると思いました。星 4 なのは、今後 社会包摂等のシステムが構築されて行くと思うし願っているので、期待から 4 にしました。
- 文章では伝わらない団体の生の声が聞けたこと

- 様々な取り組みを知ることができたのでとても有意義でした
- 色々勉強になりました

5. 成果報告会の感想、お気づきの点、団体へのメッセージなど

- ワールドカフェは、4 団体とできるとよかったです。
- 実行団体の皆様を含めて参加されている方々が若く、エネルギッシュな方々ばかりで驚かされました。また、社会的養護下の厳しい状況にある若者と真摯に向き合っている皆さんを見て、自分も改めて頑張らなければならないと思いました。
- 3 年間ありがとうございました！ 3 年間の事業成果がどの団体さんも分かりやすかったです。「これをやりました」だけでなく、事業期間中の紆余曲折とともに、次のステージに向かっていくにあたって検討されていることなどが具体的にお話いただき、助成期間は終わるけれど事業継続のために一緒に考えていきたいと思う時間になりました。また、ワールドカフェを通して各団体さんのことを深掘して聞くこともできました。とぼすの制作と並行しての成果報告会のご準備も大変だったと思います。お疲れさまでした & ありがとうございます！
- 3 年間事業を続け、やり遂げられたこと自体もとても素晴らしいことだと思いました。お疲れ様でした。
- 3 年間の休眠預金事業、お疲れ様でした！ 今後もそれぞれの団体さんの事業は続いていくと思いますが、是非 3 年間で培われたつながりや経験値をもとにこれからも頑張ってください！
- 是非、続けていって欲しいと思います。質問 2、3 は 3 つを選ばいと行けなかったため選択したが、基本プログラム全体に満足している。ご準備大変だったかと思います。貴重な機会に同席させていただき感謝です。
- 各団体の取り組みから、ちばの WA さんと実行団体の協働あつての報告会だったと思いました。若者支援のためには社会包摂システムが必須で、そのシステムがしっかり構築されれば、全ての人に優しい社会になると思いました。
- 時間がないため、ある団体の運営状況は詳しく紹介されていなかった、少し残念です。

以上